

日本語教育機関のための自己点検・評価項目

2025年4月15日

学校法人平成医療学園

横浜医療専門学校 日本語学科

本校は、法務省の告示を受けた日本語教育機関として、日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号2規定されている通り、教育水準の向上と適切な業務運営を継続させる為、自己点検・自己評価項目を定めて、教務及び事務の責任者と校長による改善検討委員会において点検・評価をおこない、改善点を明確にしている。

【評価】

A：達成されている。

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる。

C：達成に向けて努力している。

D：達成されていない。／必要性に気づいていない。

1. 教育理念・目的等

評価

1	1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	A
2	1-2	学校の特色は何か	A
3	1-3	学校の将来構想を抱いているか	A
4	1-4	理念に基づく教育が行われているか	A

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

本校は横浜という日本の玄関口として発展した国際都市に位置する。そのような環境の中で様々な国から来日した学生が母国との比較を通して広い視野を身につけ、日本の上級学校・高等教育機関への進学を目標とした日本語教育を行っている。また、日本の社会生活に順応できるよう語学力のみならず、文化、習慣、マナーを身に付けてもらう事を目的とする。

2. 学校運営

評価

5	2-1	運営方針は定められているか	A
6	2-2	事業計画は定められているか	A
7	2-3	運営組織や意志決定機能は確立され、効率的なものになっているか	B
8	2-4	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	A
9	2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	A
10	2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	B
11	2-7	危機管理体制は整備されているか	B
12	2-8	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	A

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

毎日の教職員終礼で学生情報共有・連絡を密にし、効率的な学校運営をするように努めている。WEB上の学籍管理システムを使った在籍管理や授業で使用する資料の管理など業務の効率化は随時進めている。所轄の警察署（神奈川県警察署）や消防署（神奈川県消防署）と密に連携し、危機管理体制も整備している。災害時の避難誘導に関してもマニュアルを作成しているが、非常勤も含めた教職員に今後周知徹底させていきたい。

3. 教職員

評価

13	3-1	教育理念・目的が教職員間で共有されているか	A
14	3-2	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	A
15	3-3	教職員評価を行っているか	A

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

教職員は連絡を緊密にし、理念、目的、目標等を共有している。非常勤講師の採用時には必ず学校の教育理念、目的を共有し、賛同して頂いた講師のみを採用している。新しく採用された講師に関しては、専属の担当教師がつきマンツーマンの教案指導並びに模擬授業など徹底した新人教育をおよそ半年間行い、教壇に立たせている。

4. 教育活動

評価

16	4-1	カリキュラムは体系的に構成されているか	A
17	4-2	授業評価の実施・評価体系はあるか	B
18	4-3	目標に向けて授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	A
19	4-4	成績評価は適切に行われているか	A
20	4-5	各種日本語試験の認定率向上のための指導体制はあるか	A

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

2年間の学習で参照枠B2レベルに到達できるように、初級、初中級、中級、中上級、上級、の体系的なカリキュラムを編成している。主任教師のもとでの模擬授業や授業見学で各教師の具体的な改善点を明確にしている。

学習評価は、試験、日常の授業の成績を総合して決定し5段階評価とし、試験等の成績は、秀（90点以上）、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）、不可（59点以下）の5段階とする。

評価項目は、文法、文字語彙、会話、聞き取り、作文の5項目とし、評価点の点数配分は、学期末テスト70%、授業内テスト20%、課題提出率10%とする。

JLPT 取得のための適切な教材の準備をし、指導方法についての各教師間の連絡も密にしている。

5. 学生支援

評価

21	5-1	進学・就職活動に関する体制は整備され、有効に機能しているか	A
22	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	A
23	5-3	学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	A
24	5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	A
25	5-5	保護者と適切に連携しているか	B
26	5-6	卒業生への支援体制はあるか	B
27	5-7	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	A
28	5-8	日本を理解するための支援が適切に行われているか	A

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

2学年初頭に進路情報を伝え、定期的に進路ガイダンスを実施し、自身の進学先を決めるように促している。進学希望先が固まった生徒に対しては、経験が長い進路指導担当教師による願書の記入指導、個別の模擬面接、などを経て、早めに進路が確定するようにしている。また生活指導担当職員が常に学生に声をかけ、困ったことや悩みなどの相談に対して適切な助言、アドバイスを行っている。

6. 在留管理と生活指導

評価

29	6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	A
30	6-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	A
31	6-3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	A
32	6-4	常に最新の学生情報を把握しているか	A

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

複数の入管業務申請取次者を配置し、適切な在留管理に努めている。在留関係、日本社会への理解、法令遵守等の理解を目的とし、入学時並びに定期的に、ネパール・ベトナムなどネイティブ職員によるオリエンテーションを行い、出席率、学費の支払い方法、在留カード・保険証の更新や自転車交通マナーなどをしっかり指導している。また、所轄の警察署とも連携して警察講習会を行い、日本の法令遵守を徹底し、犯罪に巻き込まれないようナリテラシーの醸成を行っている。また、アルバイトの状況調査を行い、学校のデータベースで管理をしている。

7. 学生の募集と受け入れ

評価

33	7-1	学生の受け入れ方針は定められているか	A
34	7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	A
35	7-3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A
36	7-4	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	A
37	7-5	適正な定員設定及び在籍数になっているか	A

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

本校と契約を交わし、信頼関係の確立した仲介機関を介して、日本における進学、就職希望の学生の推薦を受けて、入学希望者ならびに経費支弁者とオンラインによる面接を行い、選考合格者に入学を許可している。経費支弁と日本語能力の確認には特に力を入れ、JLPT、NATTEST、EJUなど日本語能力を確認できる試験結果の提出を入学の条件としている。今年度も適正な定員設定及び在籍数となっている。

8. 財務

評価

38	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
39	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
40	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	A
41	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	B

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

本校は複数の学科を運営する専修学校の一面もあり、校長、学科責任者、法人本部の役職者で月次での学校運営会議を行い、その中において予算管理を行っている。財務基盤は安定している。また期末に監査役による現金実査、資産の確認も実施している。財務状況については学校法人のWEBサイトに事業計画・事業報告を掲載し、誰でも閲覧できる状況となっている。

9. 法令等の遵守

評価

42	9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
43	9-2	個人情報に関し、その保護のための対策が取られている	A
44	9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A
45	9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	A
46	9-5	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	A

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

日本語教育機関の告示基準に則って出入国管理が行われている。法務省より適正校（クラスⅠ）としての認定を受けている。個人情報保護規定に関する取り組みを教職員は理解、実施している。

10. 社会貢献

評価

47	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	D
48	10-2	学生のボランティア活動を奨励支援しているか	D

〈現状・具体的な取り組み／課題〉

コロナ禍も落ち着き、日本語学科としても順調に学生を迎え入れている。しかしながら、ボランティア・地域貢献に関して必要性を理解しているが、奨励・支援にまでは至っていないのが現状である。令和7年度は神奈川消防署や神奈川区消防団の方と防災訓練や救命訓練などのボランティア活動に参加を計画している。